

造血細胞移植看護基礎研修 プログラム

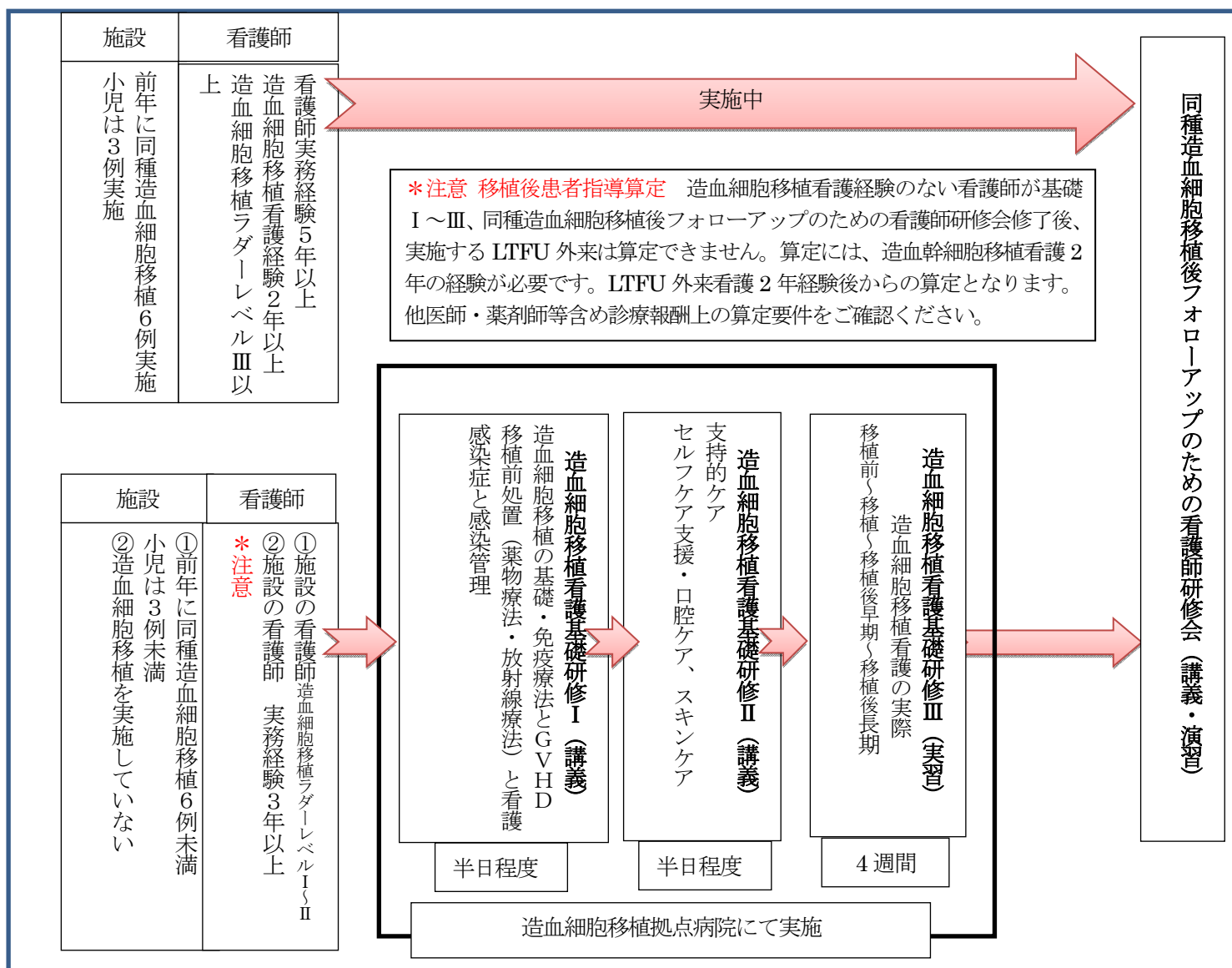
日本造血細胞移植学会
2021 年 12 月

はじめに

日本造血細胞移植学会では、2012年造血細胞移植後患者指導料の新設にともない、造血幹細胞移植に係る研修として研修会を開催し多くの修了生を輩出してきた。2013年には「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が立法化された。造血細胞移植医療体制整備事業として2015年までに9施設が拠点病院として指定血液疾患患者全体の生存率向上のために適切な時期に、適切な種類の移植を提供できる体制作り、地域連携と移植後のより良い長期フォローアップ体制の構築のために、人材育成事業、コーディネート支援事業、地域連携事業の3つの事業をそれぞれ担当した。日本造血細胞移植学会看護部会は、拠点病院人材育成担当施設と連携し、さらなる人材育成研修として、患者が住み慣れた地域に戻り長期フォローアップが受けることができるための研修を検討してきた。

研修の概要

同種造血細胞移植件数が少ないまたは実際を知る機会のない看護師が移植看護及び移植後フォローアップの要点と支援方法を学ぶ機会として基礎研修を企画した。基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲをすべて修了することで、学会主催の移植後フォローアップのための看護師研修受講資格を得ることができる。すなわち、同種造血細胞移植件数が少ないまたは実施していない施設の看護師も受講可能となる。習得すべき知識や知るべき治療・看護については、造血細胞移植看護にかかわる看護師のクリニカルラダー Ver3の項目をもとに3段階の研修とした。(資料1参照) 基礎Ⅰ、Ⅱは講義、Ⅲは見学実習とした。見学実習は4週間と長期間であるが、造血細胞移植前～生着～退院、までの治療看護の一連を見学し造血細胞移植治療看護の実際を知り、長期フォローアップのための看護師研修会での理解を助けるためである。各研修は移植拠点病院にて開催し修了者には修了証を発行し、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲすべての修了証をもって、学会主催の移植後フォローアップのための看護師研修会への受講が可能となる。



基礎研修Ⅰ

対象者：造血細胞移植看護師ラダーレベルⅠ～Ⅱ

同種造血細胞移植を実施していない施設の看護師は看護師経験３年以上が望ましい

時間：半日程度

研修方法：講義 現地での集合研修、Webでの集合研修、e-Learning のいずれも可

研修目的：１．造血細胞移植の治療経過を理解できる

２．造血細胞移植前処置の位置づけと看護を理解できる

３．移植後早期の感染管理のガイドラインを理解できる

研修目標：１．造血細胞移植適応となる疾患について説明できる

２．造血細胞移植の経過（前処置～移植後１年頃まで）を説明できる

３．抗がん薬の管理について説明できる

４．移植前処置に使用する抗がん薬の種類・特性が説明できる

５．移植前処置中（全身放射線照射・大量化学療法）の患者観察・看護ケアを説明できる

６．カテーテル関連血流感染防止策を説明できる

７．感染防止のための環境管理を説明できる

８．感染防止のための食事管理を説明できる

修了認定：研修主催施設が必要な研修の受講完了を認めた場合は修了証を発行する

基礎研修Ⅱ

対象者：基礎研修Ⅰを修了した看護師

時間：半日程度

研修方法 講義 現地での集合研修、Webでの集合研修、e-Learning のいずれも可

研修目的：１．患者教育（セルフケア支援）の基礎知識を理解できる

２．移植後の支持的ケア 口腔ケアを理解できる

３．移植後の支持的ケア スキンケアを理解できる

研修目標：１．患者教育（セルフケア支援）の要点を説明できる

２．口腔内の異常について説明できる

３．口腔ケアの目的と方法を説明できる

４．皮膚の異常について説明できる

５．スキンケアの目的と方法を説明できる

修了認定：研修主催施設が必要な研修の受講完了を認めた場合は修了証を発行する

基礎研修Ⅲ

1. 対象者 造血細胞移植看護基礎研修Ⅰ・Ⅱ修了者
2. 実習のねらい
造血細胞移植看護基礎研修Ⅰ・Ⅱで学んだ知識をもとに、移植看護の一連の流れを見学することで、特殊性のある移植看護の知識・技術を理解することができる。
3. 実習の目的
 - 1) 移植看護の一連の流れを見学し、実際を知ることができる。
 - 2) 患者の病態を理解し、治療に伴う副作用・合併症とその対処について知ることができる
 - 3) 移植看護に必要な感染管理を知ることができる。
 - 4) 移植看護に必要な支持的ケア（口腔ケア・皮膚ケア・リハビリ等）の実際を知る。
 - 5) 移植前処置～LTFU 外来を通じ、長期にわたり患者を支えることの必要性がわかる。
 - 6) 多職種との連携が必要であることがわかる。
4. 実習の目標
 - 1) 移植前処置から事例を通して、移植前～中～後期の一連の流れを経験する。
 - 2) 移植前処置とその副作用・合併症について学習する。
 - 3) 移植後早期の感染症とその管理について学習する。
 - 4) 移植後患者に必要な支持的ケアについてアセスメントに基づいた看護計画を立案できる。
 - 5) 移植決定から、LTFU 外来までの長期に患者を支えることについて考えることができる。
 - 6) 移植医療にかかわる多職種を知り、その連携について述べることができる。
 - 7) 移植看護に関わるための自己の課題を明確にすることができる。
 - 8) 自己および自施設の課題を考えることができる。
5. 実習時間数
実習期間 4 週間（1 週間 5 日間 計 120 時間）但し、祝祭日は休みとする
実習時間 1 日 6 時間（6 時間の拘束時間は、前処置・移植日等の時間に合わせ、移植看護の一連の流れが学べるように、実習時間を適宜調整する。）
4/5 以上の出席を必須とする
実習時間には、記録、情報検索、自己学習の時間も含まれる。
実習出席表に、実習責任者より出席時押印をもらう。
欠席時は、その理由を実習出席表に明記する。
6. 実習施設
全国の造血幹細胞移植拠点病院
7. 実習責任者と指導者の役割
実習施設での実習責任者は、当該部署の看護師長もしくはそれに準ずる職にあるものとする。実習指導者は同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会を修了した看護師が担当する。
 - 1) 実習指導者の役割
 - (1) 造血細胞移植看護基礎研修プログラムを基に実習を行う
 - (2) 造血細胞移植の看護の一連の流れを説明・指導する。
 - (3) 受け持ち患者を選定し、患者に対しての同意文書を説明し、同意を得る。
 - (4) 実習生の実習計画の立案を支援する。
 - (5) 実習生の見学した看護を目的・目標に沿って振り返りを行う。
 - (6) 実習生がレポートを作成する上での指導・相談を行う。
 - (7) 実習記録・実習態度から実習生の評価を行う。記録に対するコメント等は不要。

7. 実習に関する注意事項について

- 1) 実習中は個人情報の取り扱い、感染症への対策・事故時の対応・自然災害時の対応等は実習受け入れ施設の規定に従う。
- 2) 実習生は受け入れ施設の規定に従い、研修目的に沿って、主体的に実習を計画し、実行する。

8. 実習修了の要件について

以下の2点を満たすことで修了とする。要件を満たして実習が終了した場合に修了証が発行される。

- 1) 規定の実習時間 4/5 以上の出席。
- 2) 指定の課題と評価表を提出。

9. 記録物の取り扱い

- 1) 実習生受け入れ施設の規定に基づき記録物の取り扱いを行うこと。
- 2) 記録物の管理は実習中～終了後まで実習生に全ての責任が課される。
- 3) 記録物は落下や紛失がないよう必ずファイルに綴じ手元から離さない。離す時は所定の位置に保管する。
- 4) 個人情報保護法に基づき、個人を特定する情報（固有名詞）は、実習に関する記録は以下のように匿名化する。
 - (1) 氏名：暗号化（例 A 氏 B 氏等）イニシャルは使用しない
 - (2) 生年月日：記載しない (3) 年齢：（○歳代） (4) 住所：記載しない
 - (5) 職業：職種のみ（例 大学生 医療職 事務職等）
 - (6) 家族構成や家族の年齢は記載しない（例 キーパーソンは配偶者、こども遠方に在住等）
 - (7) 現病・既往歴の詳細な年月日は記載しない（例 ○年前 入院後○日目等）
- 5) 実習期間中に実習記録類を保存したパソコンや記憶媒体等はセキュリティーに配慮しパスワードを設定しセキュリティーロックをかけ第三者が閲覧できないようにする。
- 6) 診療録等の取り扱いは、実習施設の情報保護規定を遵守する。

10. 実習内容と方法

- 1) 実習方法は見学実習とする。直接的ケアは行わない。
- 2) 実習内容
 - (1) 移植の時期（前・中・後・LTFU 外来通院中患者）に合わせた患者を受け持ち、移植看護や多職種との連携についても知る。
 - (2) 外来において、LTFU 外来に来院した患者の問診等の見学を行う。
- 3) 課題
課題 1～5 は、実習記録シートを用いて必ず作成し、実習指導者に提出する。
 - (1) 課題 1：患者情報収集シート
移植患者の移植前からの情報収集シートを作成する
この情報シートは移植の経過に合わせ、実習期間追記し、患者の全体像が把握するために作成する。
 - (2) 課題 2-①～⑥
移植前処置中の看護・移植日の看護・移植後の看護・移植後早期の感染管理・支持的ケアの実践について課題レポートに沿って、記録を行う。
 - (3) 課題 3
LTFU 外来の実践について、LTFU 外来で担当した患者について患者の現状と行われている看護介入とそこから得た気づきについてまとめる。
 - (4) 課題 4
多職種連携について、担当した患者の実践と今後チームとしてどのように他職種を活用していくことが必要かを考えまとめる。
 - (5) 課題 5 今回の実習を通じて、これから自施設でしていきたいこと・課題を書く。

3) 実習の進め方

課題記録は作成でき次第随時提出する。

<1日目>

患者を決定する。

実習施設の規定に従い同意を得る。(同意書は実習施設規定の同意書または実習要綱内の同意書を使用する)

毎日実習開始前に出席表を提出し指導者に押印してもらう。

実習指導者と予定を立て課題が達成できるようにする。

*実習計画表を活用してもよい

<2日目以降>

計画に沿って実習を行う

記録は毎日確認し、課題1～5が達成できるように指導を受ける

<最終日前日>

課題5までが完成しているか最終確認を行う

評価表に沿って自己評価を行う

<最終日>

全ての課題を提出すること

出席表と自己評価表の原本も提出する。

4) 出席表と自己評価表の取り扱いについて

(1) 実習生は、出席表と実習評価表を実習指導者へ提出する。

(2) 実習指導者は出席表と実習評価表に必要事項を記入後実習責任者と確認後実習生へ返却する。

11. 日本造血細胞移植学会（以下学会）の役割

学会は、当研修を修了した看護師が、同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会へ受講できる状態となることをめざし造血細胞移植看護基礎研修プログラムを作成した。研修プログラムの内容の責任を負う。

実習は、実習受け入れ施設と実習生の所属施設・実習生との取り決めの下実施する。

実習記録用紙 他

1. 実習計画と実施状況表
2. 課題の記録用紙
 - 1) 課題1 患者情報シート
 - 2) 課題2-① 前処置中の看護
 - 課題2-② 移植日の看護
 - 課題2-③ 移植後の看護
 - 課題2-④ 移植後早期の感染管理
 - 課題2-⑤ 支持的ケアの実際（入院中）
 - 課題2-⑥ 支持的ケアの実際（退院に向けた指導）
 - 3) 課題3 LTFU 外来
 - 4) 課題4 多職種連携
 - 5) 課題5 気づきと課題
3. 実習評価表
4. 実習出席表
5. 同意書（自施設 研修施設のものを使用してよい）

実習計画と実施状況表

週	月日	曜日	実習計画内容と実施状況	
			予定	実施 ○
1W	/			
	/			
	/			
	/			
	/			
2W	/			
	/			
	/			
	/			
	/			
3W	/			
	/			
	/			
	/			
	/			
4W	/			
	/			
	/			
	/			
	/			

課題1：患者情報シート

患者情報	氏 歳代
診断名	
前処置のレジメン：	
ドナーソース	
疾患の状態	
現病歴 既往歴（アレルギー歴を含む）： がんに関する情報（過去の治療歴など）： 告知時の状況 その他：	
患者の移植治療に対する理解 	
その他 特記すべき事項 	

課題 2-① 前処置中の看護

時期

①患者に行われている治療
② 患者に予測される副作用
③ 行われている看護介入
④ 介入により期待する効果
⑤その他 看護介入に対する今後の課題
⑥その他の気づき

課題 2-② 移植日の看護

時期

①患者に行われた治療 ドナーソースの詳細 移植直前の処置内容 等
② 行われた看護介入
③ 看護介入の効果・結果（患者の反応・身体的変化など）
④ 移植日の課題
⑤ この看護介入に対する今後の課題
⑥その他の気づき

課題 2 - ③ 移植後の看護（感染管理以外）

時期 移植後 Day

①患者に出現した症状に対する治療もしくは予測される症状に対しての治療（移植後実施されている患者に対する医療的処置について把握する）
②移植後患者に行われている看護介入（医療的処置に関連したもの）
③ なぜその看護介入がされたのか・看護介入が行われた理由
④ 介入することでの期待する効果 もしくは介入後の結果（患者の反応 身体的変化など）
⑤ この看護介入に対する今後の課題
⑥その他

課題 2 - ④ 移植後早期の感染管理

治療経過（時期） Day

①移植後早期の移植後患者の感染症に対する医療行為・予防的処置

② その医療処置に合わせて行われている看護介入（看護師が行っている感染管理）

③看護師が行っている感染管理で気づいたこと

課題2 - ⑤ 支持的ケアの実際（口腔ケア・皮膚ケア・リハビリなど）入院中

治療経過（時期）Day

①患者の状況（問題と感じた場面 事実のみを記入する）
②問題と感じた状況から、どんな介入が必要と判断したか（アセスメント） 患者のこの場面・状況が～～だから、～～のために（こうなることを期待して）、～～の介入が必要と判断した。
③ 看護計画 簡条書き（上の文章を簡条書きにして表現する） #別に記入可
④その他の気づき

課題 2 - ⑥ 支持的ケアの実際 退院に向けた指導

治療経過（時期）Day

①患者の状況（問題と感じた場面 事実のみを記入する）

②問題と感じた状況から、どんな介入が必要と判断したか（アセスメント）
患者のこの場面・状況が～～だから、～～のために（こうなることを期待して）、～～の介入が必要と判断した。

③ 看護計画 箇条書き（上の文章を箇条書きにして表現する）
#で記入してOK

④その他の気づき

課題3 LTFU 外来（担当患者1名）

患者の移植後の時期：移植後 Day

①患者の状況 またその患者の移植後経過日における問題点
② 実施されている看護介入
③ なぜその看護介入がされたのか・看護介入が行われた理由
④ 介入することでの期待する効果 もしくは患者の反応 意識や身体的変化など
⑤ この看護介入に対する今後の課題
⑥外来通院中の移植後患者を見学することでの気づき 考えたこと

課題4 多職種連携

患者の移植後の時期：移植後 Day

①移植後患者に行われているチーム医療の介入の実際について見学したこと

記入例：見学した患者がどのような状況であり、何が必要とされ、どのような職種（ ）との連携でどのような介入が行われたか

② 移植患者に関わるうえで、どのような職種と関わるが必要と考えたか

③その他 多職種連携で気づいたこと 自部署でも活用したいと感じたことなど

課題5 実習を通じての気づきと課題

造血細胞移植拠点病院看護研修Ⅲを終えて

1. 移植看護の一連の流れを見学実習することで気づいたこと

2. 実習後の自己の課題・自施設の課題

造血細胞移植看護基礎研修Ⅲ 実習評価表

評価

A：知識の応用や判断が適切で、適時のアドバイスにより目標を達成した。

B：知識の応用や判断が不十分で、指導者のアドバイスや相談をうけながら目標を達成した。

C：自ら気づいたり、考えたりすることが不十分で、指導者から多くの指示が必要だった。今後も継続した努力が必要である。

【総合評価】

A：Aが2つ以上とB，B：Bが3つ以上，C：Cが3つ以上，

	実習目標	自己評価	指導者評価
1	移植前処置から事例を通して、移植前～中～後期の一連の流れを経験する。		
2	移植前処置とその副作用・合併症について学習する。		
3	移植後早期の感染症とその管理について学習する。		
4	移植後患者に必要な支持的ケアについてアセスメントに基づいた看護計画を立案できる。		
5	移植決定から、LTFU 外来までの長期に患者を支えることについて考えることができ、今後の移植看護に関わるための課題を明確にすることができる。		
6	移植医療にかかわる他職種を知り、その連携について述べることができる。		
7	自己および自施設の課題を考えることができ、述べるができる。		

臨地実習総合評価（実習指導者担当評価欄）：【 】

署名 氏名： _____ 印 日付： _____

署名（実習指導者）氏名： _____ 印 日付： _____

造血細胞移植看護基礎研修Ⅲ 実習出席表

氏名：_____

1W	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
出欠					
2W	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
出欠					
3W	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
出欠					
4W	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
出欠					

注) 直筆サインまたは印鑑を使用してください。欠席の場合は欠席と記載ください。サインをするためには、1 日 6 時間病院内において実習活動を行うことが必要となります。第 3 者の確認は不要です。

【欠席事由等記載欄】

造血細胞移植看護基礎研修Ⅲ 実習協力をお願い・同意書

私は看護師の_____と申します。幹細胞移植の看護ケアについて学ぶため研修をする
ことになりました。

実習前に基礎知識を学習するための基礎研修を受講後、今回その研修の一環として、平成 年 月
日～ 月 日（土日・祝日を除く）の4週間、実習します。（治療等によって変更がある場合もある）
ご理解のうえ、実習中の受け持ち患者様としてご協力いただけますよう何卒お願い申し上げます。

1 実習中の主な活動

- ・ 体調や治療の状況におうじて、無理のない形でお話をきかせていただきます。
- ・ 診療情報を閲覧させていただきます。
- ・ 移植看護を実習指導者のもと、見学と一緒にさせていただきます。

2 プライバシーと個人情報の保護

- ・ 実習を通して知り得た患者様とご家族に関する情報については、プライバシーを守り、情報を秘匿
いたします。また、情報の秘匿と管理に関する病院のきまりに従い、責任をもって取り扱います。

3 安全と説明/同意について

- ・ 患者様の意思を確認させていただき、同意が得られなかったことは行ないません。この依頼を断ら
れることで看護上及び診療上の不利益を受けることはありません。
- ・ 受け持ち患者様の安全性の確保を最優先といたします。
- ・ 実習に関してご意見やご質問があれば、実習生本人あるいは実習指導者に直接おたずねください。

上記のことに同意し、実習に協力いたします。

年 月 日

患者氏名 署名 _____